

東京の“天空”からいざ出陣！ 鳥取県の新しいお米「星空舞」が全国デビュー 山本舞香さんが「とっとりふるさと大使」に！



左から岡島さん、平井知事、山本さん



平井知事より「とっとりふるさと大使」を委嘱された山本さん

鳥取県(知事:平井伸治)は、2018年に新しいお米「星空舞(ほしぞらまい)」を開発し、この秋から本格的に全国販売いたします。これを記念して、10月18日(金)にコニカミノルタプラネタリウム“天空”in東京スカイツリータウン(R)で記者発表会を行いました。

「星空舞」は、鳥取県農業試験場がおよそ30年の歳月をかけて開発し、2018年にデビューした新品種米で、病気に強い品種の交配を繰り返し、倒れにくく高温に強いことが特徴です。また、冷めても美味しく、白米が綺麗で透き通っており、「星取県から生まれた“星のように輝くお米”」であることから「星空舞」と命名されました。

発表会には鳥取県出身の女優・山本舞香さん(所属:インセント)と、同じく鳥取県出身で世界初の人工流れ星事業を手がける株式会社ALE代表・岡島礼奈さんが登場。平井知事が「星の綺麗な鳥取で生まれた安心安全のお米を、ぜひ皆様に召し上がっていただき、鳥取の美しい星空を思い浮かべて元気になっていただきたい。」とアピールし、登壇者へ炊きたての「星空舞」が振舞われました。岡島さんは、「白いお米がつつや光って綺麗、噛めば噛むほど美味しいです。」と、新しいお米を絶賛しました。山本さんは、「鳥取は食べ物が美味しく空気も綺麗、水も美味しく、家族みんなが幸せになれる場所です。」と、鳥取の魅力をアピールしました。

また同時に、山本さんと岡島さんを「とっとりふるさと大使」に委嘱するセレモニーも行われ、平井知事から委嘱状が手渡されました。鳥取県では、本県の魅力を広く国内外にPRするために、県外で活躍されている鳥取県にゆかりのある方を「とっとりふるさと大使」に委嘱しており、平成17年からこれまでに56名の方が委嘱されています。

山本さんからは「家族や友人など、鳥取のみなさんに恩返しをしていきたいです。鳥取は私のパワースポットです。」、岡島さんからは「鳥取で生まれ育ち、大好きな場所なので、とても嬉しいです。」と語られました。

<星空舞とは>

「星空舞(ほしぞらまい)」は、2018年にデビューした鳥取県農業試験場が開発した米の新品種です。夏の猛暑にも負けない品種を目指して、コシヒカリの子孫にあたる「ゆめそらら」を5年間かけて交配し、コシヒカリのおいしさはそのままに、倒れにくく高温に強いお米が誕生しました。

■栽培上の特性

- ・夏場の高温に強く、一等米に格付けされやすい
- ・コシヒカリより背丈が短く、倒れにくい
- ・いもち病にかかりにくい

■特徴

- ・白米が綺麗で透き通っている
- ・お米のおいしさの指標「味度値」が高い
- ・炊いたお米のツヤが優れる
- ・粒感しっかり、はね返るような食感
- ・冷めても食感が変わらず美味しい

■名前の由来

見た目が透き通っており、
星取県※から生まれた「星のように輝くお米」であることから「星空舞」と命名されました



※「星取県」とは…

鳥取県では、環境省が実施した全国星空継続観察で何度も日本一に輝き、どの市町村からも天の川が見えるなど、県内全域にわたって美しい星空を観察できることから、2017年に「星取県」を名乗り、星空の保全や星空を活用した地域振興に取り組んでいます。

■生産拡大計画

2019年度(令和元年度)の作付面積は昨年度の70倍以上に増え、より多くの家庭に届けられるよう本格生産を開始しています。将来的には、県内の食用米の25%を占めることを目標にしています。

2018年度(平成30年度)	5.1ha(約20t)
2019年度(令和元年度)	360ha(1,800t)【前年度比70倍以上】
2020年度(令和2年度)	1,000ha(5,000t)※予定
↓	
5年後(2023年度)の目標	3,000ha【本県主食用米の25%】



■販売について

【関東】10月16日より販売開始

場所:鳥取県アンテナショップ「とっとり・おかやま 新橋館」、都内百貨店(伊勢丹新宿店)等
ANAfesta羽田空港店では期間限定(~11月中旬)でおにぎり・2合米パックを販売

【鳥取県内】10月1日より県内スーパー、JA直売所などで販売中

【関西】10月5日より阪急オアシス全店、キッチン&マーケット(ルクア大阪)などで販売中